

(国 語) 科における平成30年度授業改善推進プランの検証

<p>取り組みにおける成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読解力に関しては、説明文・文学作品のどちらも文章の構成や展開をとらえて読む力がついてきている。 ・ 説明文で文章から必要な情報を集めたり、文章の構成や展開をとらえる力をより強化する必要がある。 ・ 2, 3年生においては、話す、聞く能力の向上が見られた。意識して人の話を聞くこと生徒同士は発表などを通してお互いの意見を聞き合うことの成果だと考えられる。

(国 語) 科における調査結果の分析

<p>領域別結果 の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○正答率においてはどの学年も基礎、活用ともに目標値を上回っていた。 ○1学年では活用の部分の表現の能力の部分で目標値を下回っている。 ○2学年は全国平均とほぼ同じ水準の結果となった。3年生は目標正答率ほどの点も目標値を上回るが、全国平均正答率に達してはいない。
<p>観点別結果 の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3学年はどの観点においても、目標値を上回った。しかしどの観点においても、全国平均正答率に達してはいない。とくに「言語に対する知識・理解・技能」の観点が、前年度の3年生よりも点数が低い。 ○1学年は「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」の観点が目標値を下回った。積極的に課題に取り組んだり、教科に対しての好きな気持ちがあり養われていないのではと考えられる。 ○2学年はどれも観点もほぼ目標値を超えているが「言語に対する知識・理解・技能」の観点が目標値を下回る。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な読解のスキルを向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> →文学作品を読む際に押さえる、場面展開や登場人物の心情をとらえる力をつかむために文中の行動描写や情景描写など細かい表現にも注意を払わせる。 説明的文章を読む際に把握する中心文の理解を、新聞やワークシートなどを活用して普段から練習させる。また、教科書の教材に関連した別の文章にも触れる機会を増やして、学習した内容の定着を図る。 2 漢字の読み、語彙力を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> →日常的に漢字の学習を取り入れ、プリントを使って家庭や学校で繰り返し練習させたり、授業で小テストを行ったりして、漢字を書く力をつけさせる。 また、さまざまな学習活動の中で表記について適宜指導する。 3 話すこと聞くことを意識させる。 <ul style="list-style-type: none"> →日頃から全体と部分に注意し、集中して話を聞く態度を養う。

(国 語) 科の授業改善策

<ul style="list-style-type: none"> ○授業での教師の発言やお互いの生徒同士の発言を大切にする。聞く習慣を養う。 ○説明的文章を読む力をつけるために、新聞や教科書の教材に関連した別の文章を読むなどいろいろな文章に触れる機会を作り、ワークシートなどを活用して情報を取捨選択する力を身につけさせる。 ○書く力をつけるために、作文のガイドラインや構想を練る練習をさせるとともに、相手や目的、意図に応じた短作文を論理的に構成させる。
